SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**

事業者名：株式会社スパークリンガル

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿、目指すべき目標・志を社員と共有している。 ・社員は、自らの使命を理解し、やりがいを感じている。 ・会社のあるべき姿の実現に向け、困難を克服し、新しい技術・事業に挑戦する文化が形成されている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・職務の執行が法令及び定款に適合し、かつ社会的責任を果たす為、「企業行動規範」「役員および従業員の行動基準」及び「コンプライアンス規程」を誠実に遵守している。 ・すべての役員及び社員が常にコンプライアンス意識の向上を心がけ、またコンプライアンス精神に基づき業務の遂行ができるような職場環境の整備を継続して行っている。 ・「業務の適正を確保するための体制」の一環として、コンプライアンス違反の早期発見及び未然防止を行うために、コンプライアンス担当役員（担当者：徳永）に直接報告する体制を取っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不当な競争制限行為や不公正な取引を決して行わず、政治、行政、その他の組織・個人と健全な関係を保ち、正しい企業倫理に基づいた公明正大な事業活動を行うことを目指している。 ・「同業他社関係者との接触規制に関するガイドライン」を制定（2016年4月）（2020年4月更新）している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社員一人ひとりがそれぞれ担う役割や立場よりも高い成果を求め日々活動を実施している。 ・SDGs達成に向けた会社としての取り組みを社員が正しく理解し、事業との関係性を把握しながら目標達成に向けたアクションを起こしていくために定期的に社内勉強会を行っている。 ・社員が専門性を深めていけるチーム制組織構造とし、少人数精鋭でスピード感・柔軟性のある業務遂行を心がけ、企業競争力向上のためのスキルアップを行いやすい環境を作っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・自社の知的財産権の保護意識を高めるとともに、他社の知的財産権を尊重する企業風土作りに取り組んでいる。 ・知的財産権については、自ら創造することに努め、社内で知的財産権の研修および情報共有を行い、社員のレベルアップを図り、権利侵害の未然防止強化を図っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の保護に関する法律等の関連法令を遵守し、適法かつ公正な手段によって個人情報を取得し、個人情報を取得する際には利用目的をできる限り明確にし、ご本人の同意を得た上で利用目的の達成に必要な範囲内でのみ、利用及び提供している。 ・個人情報管理責任者を置き、適切な管理に取り組んでいる。 ・安全管理措置として、情報セキュリティの教育を役員および 全従業員を対象に実施し、紛失、破壊、改ざん及び漏洩防止に努めている。 ・個人情報の取り扱いを委託する場合には、委託先と秘密を保持する契約を義務付け実施している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・共存共栄の精神で常に対等・公正な立場でステークホルダーと関わり、適切な関係を構築している。 ・事業活動での様々な影響を事前に認識し、より良い解決策に向かってステークホルダーの皆さまと対話を行っている。 ・定期的なアンケートなど、顧客の声（特に苦情）を大切にし、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・企業のグローバル化が進み、生産、調達、販売をめぐる世界規模のネットワークが張りめぐらされていく中で、関わる複数のパートナー企業とのやり取りを含めた情報の管理と共有が自社にできることの一つと認識している。 ・グローバルなサプライチェーン導入を検討されている企業に対し、自社の特徴を活かした人材育成の一助を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・事務所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・社員にハザードマップを周知し、社員の意識を高め情報共有を行っている。 ・緊急災害時などの案内を多言語で対応することが出来る。 ・自社を大雨・洪水時の駐車場として開放している。 ・2022年2月より外国人向けに自社webサイトより情報発信を行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・令和5年度事業承継セミナー（熊本県商工会連合会主催）に参加し、事業承継に必要な知識やスキルを学んだ。経営戦略や財務管理、リーダーシップスキルなど、経営者としての成長を促す。 ・後継者の経営シミュレーションと実践機会の提供 実際の経営に関わるプロジェクトを担当させたり、部分的な経営判断を任せることで、リスク管理や意思決定の経験を積む。これにより、実践的なスキルを養うと同時に、後継者の成長を促している。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・原産地での労働環境や賃金、取引価格などが、公正なものであるかどうか、常に関心を持ち、配慮しながら商品を調達している。 ・自社のノベルティ商品にはフェアトレード認証を受けた東南アジア（特にタイ原産）のコーヒーやハーブティーを採用している。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・人種・性別・年齢・国籍・信条・宗教・社会的身分・障がい・性的指向・性自認などに関わらず多様な人材が重要なパートナーとして尊重し合い、いきいきと活躍できる働きやすい職場づくりを進め、採用選考に当たっては、応募者の適性・能力・意欲に基づき採用選考することを採用規程に定めている。 ・社員規律としては、人権の尊重や不法行為の禁止、職場におけるセクシュアルハラスメントの禁止などを規定するとともに、違反が発生した場合の懲戒措置を社員就業規則に明記している。さらに、セクシュアルハラスメントなどの性差別やパワーハラスメント防止、障害者差別解消法の順守のため、社員同士が意見交換をしながら公正で明るい職場作りに取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全最優先で社員の労働安全の確保に努め、安全衛生関連の諸法令の順守を徹底している。 ・安全方針に基づき職場点検や改善・整備を行い、社員への啓発も随時行っており、労働災害の発生件数を0に抑えている。 ・職場における良好な人間関係の形成やコミュニケーションの活性化により、快適な職場環境の形成を推進している。 ・心の健康確保（予防を含む）の重要性について、社員（管理監督者を含む）の理解を促進している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差の解消の取り組みを通じて、社員がどのような雇用形態を選択しても納得が得られ、公正な処遇を受けられる体制を構築している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・在宅勤務制度や子連れ出勤制度、フレックスタイム制度の導入など、多様な働き方を自由に選択できるような環境を整備し、仕事と家庭（プライベート）の両立支援を行っている。 ・キャリアコンサルタントによる支援が可能な環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・個々の具体的なスキルや知識を身に付けるための教育や訓練、資格取得を奨励し、研修体制の整備や必要経費の支給を行い、自立性・主体性を持って能力を向上させられる環境の整備を行っている。 ・グローバル人材の育成をかかげ、経営理念達成のためには自社はどうあるべきか、自分はどうあるべきか、将来を見据えた長期的視点で捉え、必要な働きができるように動くことができる人材の育成を目指している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、定期的な運動や健康診断の受診を勧奨し、経費補助を行っている。 ・会社や家庭での悩みを気軽に相談し合い、向き合う環境を整えることで社員のメンタルケアに繋がっている。 ・キャリアコンサルタントによる支援が可能な環境を整えている。 ・2022年より業務時間内（30分）の運動時間を設けた。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・社員の人種、宗教、人格や個性など、多様性を尊重し、才気あふれる人材が最大限に能力を発揮できる環境を整え、あらゆる差別や虐待、モラルハラスメントを許さない姿勢を取っている。 ・女性のリーダー任用と人材育成を実施し、LGBTへの支援や社内セッションを行い理解を深めている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・時差出勤、在宅勤務（テレワーク等）を導入し、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・ウェブ会議、事務所の換気や消毒、社員の出勤前の検温実施・報告を義務化し、社内での感染症対策の規程を設けている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ICTやロボット等の新技術の活用により、作業の効率化、生産性の向上に努めている県内の農家や地域の畜産農家へのヒアリングを実施している。 ・熊本県Iot推進ラボでのコーディネート業務に携わっている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新

事業者名：株式会社スパークリンガル

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ゴミを増やさないようにするために”3つのR”への取り組みを実施している。 ①Reduce（減らす）-いらないもの、使ってもすぐゴミになる使い捨ての製品などは初めから買わない・利用しないように配慮する。 ②Reuse（再利用）-裏紙をメモ用紙として使用するなど、そのままの形で別の利用法によりその製品を活用していく。 ③Recycle（リサイクル）-ゴミの分別コーナーを設け、地球資源の循環化及び廃棄物削減を目指し、できることから取り組みを進めている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・Ecoコミュニケーションボードを設置し、省エネアイデアを社員と共有、実践することで社員の意識改革と作業効率を高めている。 ・OA機器のスリープモード、省エネモードを活用している。 ・空室・不在時のこまめな消灯を行っている。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、業務用インフラをオール電化エネルギーに入れ替えている。また、省エネ効果の分かりやすいLED照明へ更新している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・空調設備、リモコンの設定温度を季節に合わせて明記している。 ・社員のクールビズを積極的に取り入れている。 ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、移動時のエコドライブ（アイドリングストップ、急発進・急加速・急ブレーキを減らす、定速運転を心がける）や、マイカーの利用抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び社員の活動において、廃プラスチックやレジ袋などの使用削減に努め、マイバッグ、マイカップ、お箸の利用を行っている。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、社内文書は裏紙の利用を促進している。 ・いらないもの、使ってもすぐゴミになる使い捨ての製品などは初めから買わない・利用しないように配慮している。 ・裏紙をメモ用紙として使用するなど、そのままの形で別の利用法によりその製品を活用している。 ・ゴミの分別コーナーを設け、地球資源の循環化及び廃棄物削減を目指し、できることから取り組みを進めている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内（トイレ、洗面台）にポスターや貼り紙で注意喚起をし、節水への意識を上げる工夫を行っている。 ・会社の敷地内に（家庭用）雨水タンクを設置して、外掃除や花壇の水やりに活用している。災害時の備えにも期待が持てる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・社内で使用する日用品は地球環境に配慮した製品や素材のものから優先して購入するよう促している。 ・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、社内文書は裏紙の利用を促進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・規格外の農林水産物を積極的に選び、必要な量だけ購入し、食べきることが削減につながるという意識の上で実践している。 ・自社での食事会には3010運動（さんまるいちまる運動）を行っている。 ・フードバンクの積極的な活用を行っている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・環境への貢献と事務所の景観向上のため、植樹（植栽）や花壇づくりを行っている。 ・現在、ゴーヤを使って事務所の壁面緑化に向けた取り組みを行い、会社の敷地内に菜園を作り野菜を育てている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・Ecoコミュニケーションボードを設置し、省エネアイデアを社員と共有、実践することで社員の意識改革と作業効率を高めている。 ・OA機器のスリープモード、省エネモードを活用している。 ・空室・不在時のこまめな消灯を行っている。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、業務用インフラをオール電化エネルギーに入れ替えている。また、省エネ効果の分かりやすいLED照明へ更新している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・3R「リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）」への取り組みを行っている。 ・プラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる。 ・レジ袋をもらわなくていいようにマイバッグを持参している。 ・プラスチック製のスプーンやフォークをもらわず、マイ箸やマイスプーンなどを常備している。 ・プラスチック製ストローの使用を控えている。 ・繰り返し使える詰め替え用ボトルなどを購入している。 ・ごみのポイ捨てや不法投棄はせず、所定の場所や時間に分別して捨てている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・ノーマイカーデーを設定し、公共交通機関での通勤を推奨している。 ・移動時のエコドライブ（アイドリングストップ、急発進・急加速・急ブレーキを減らす、定速運転を心がける）や、マイカーの利用抑制に取り組んでいる。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新

事業者名：株式会社スパークリンガル

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・「何が求められる品質で、何が安全で、何が使いやすいのか」を生活者視点・顧客視点で考え、改善を繰り返している。また、人々から満足いただける製品・サービスの提供に努め、一層の信頼を得ていくことを、安全性と品質への取り組みの基本的な姿勢として社員と共有している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・多様な人材の社会進出が求められる中、働き方の改革や、あらゆる人が平等に生活、仕事ができる社会や環境について時代に沿ったユニバーサルデザインの導入を目指している。 ・製品やサービス及び施設等において、ユニバーサルデザインを考慮している。 ・事務所扉のつなぎ目に連動するカバーを取り付けたり、マグネットプラグを利用し、ケガを未然に防ぐ工夫を行っている。 ・緊急災害時などの案内を多言語で対応することを可能としている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・地域の農業高校生が育てた野菜や加工品を積極的に購入している。 ・県産の原材料を優先的利用を促進し、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・地域の材木店から出た廃材を利用して、自社敷地内の花壇プランターとして利用している。 ・事務所（書斎）の天井や床、棚には県産材を使用している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・多様な人材の社会進出が求められる中、働き方の改革や、あらゆる人が平等に生活、仕事ができる社会や環境について時代に沿ったユニバーサルデザインの導入に注力している。 ・多彩な個性と能力を持つ人材が集まり、活躍できる職場作りを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・ICTやロボット等の新技術の活用により、作業の効率化、生産性の向上に努めている県内の農家や地域の畜産農家へのヒアリングを実施している。 ・外国人材受け入れによる課題解決に力を入れている。 ・東南アジアのタイ（国立カセート大学）の学生とのオンライン農業交流会を実施している。（令和5年8月10日実施済み）		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・社員に対し、居住する地域活動に参画するように奨励している。 ・地球規模又は地域が抱える課題解決のため、寄付を行っている。 ・地域に居住する外国人サポートを行っている。 ・令和5年度に地域のボランティア活動（公園清掃）に参加。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・社員にハザードマップを周知し、社員の意識を高め情報共有を行っている。 ・緊急災害時などの案内を多言語で対応することを可能としている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・社内で防災訓練や教育を実施し、従業員とその家族の防災知識を高め、災害時の対応方法、緊急時の連絡手段などを明確にし、会社全体で防災意識を共有している。 ・地域の他の小規模事業者と連携して、共助のネットワークを構築し、災害時に助け合える体制を整え、情報共有や相互支援を行えるようにしている。（自社を大雨・洪水時の駐車場として開放。） ・外国人住民向けに、防災や災害時の対応方法を多言語で提供できる。市町村の防災マニュアルや避難所の案内、緊急時の対応策を、英語や中国語など複数の言語で翻訳し、配布やウェブサイトでの公開を行っている。（kumataiwanlife.com） ・災害発生時に、外国人住民への情報提供が迅速に行えるよう、通訳者や翻訳者を派遣できる体制を整え、緊急時には、避難所や自治体と連携し、外国人の方々が必要な支援を受けられるようにサポートしている。 ・地域の自治体や防災機関と協力し、外国人向けの多言語防災情報の整備・普及を支援している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・熊本県産の原料を使用した非常食や防災関連商品を自社の備蓄用としても使用し、内外に向けて積極的にPRしている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・顧客や社員に対し、SDGsの普及活動や教育機会の提供を行っている。 ・社内でSDGsに関する研修を実施し、役職員にSDGsへの意識が浸透している。 （令和5年6月6日に実施済み）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生、留学生のインターンシップを積極的に受け入れている。 ・地域の高校生への語学教室、留学相談を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の生徒、学生を積極的に受け入れるため、県内就職説明会への参加を行っている。 ・若者や子供を支援する寄付・協賛等を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・社員の子供たちへ地元の農水産物を通した食育に取り組んでいる。 ・地域の農業高校生が育てた野菜や加工品を積極的に購入している。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。